

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	看護研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	3年生教室
担 当 教 員	岡本 智子	実務経験と その関連資格	医療施設にて看護師として勤務していた。			
《授業科目における学習内容》						
看護研究の目的と意義を知り、研究に対する理解と関心を深める。1つの研究的問いに対して関心を傾け、探求する基礎的能力を身につける。各自のケーススタディについて指導を受けながら、その実際を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
評価割合:ケースレポート(40%) 発表レポート(30%) 発表(20%) 出席(10%) 出席状況、取り組み姿勢、課題提出状況等も含めた総合的な評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統別看護学講座 看護研究 別巻 医学書院 わかりやすいケーススタディの進め方 照林社						
《授業外における学習方法》						
事前の予習、復習(特に講義の範囲をまとめる、読んでおくなど)						
《履修に当たっての留意点》						
看護研究は、看護の質の向上のために必要なものです。日々、看護現象へ疑問を持ち、問題を解決するために系統的に研究する能力を育んでください。また、レポートの持ち帰りは個人情報保護により禁止していますので、これを念頭において進めてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	「研究力」をはぐくむ—看護研究の基礎について理解することができる。	テキスト、配布資料	事前学習 教科書2章を 読む(30分) 事後学習 教科書2章を 読む(30分)	
	各コマに おける 授業予定	看護研究の意義、リサーチクエスチョン、研究デザインについて				
第2回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	「研究力」をはぐくむ—看護研究の基礎について理解することができる。 「研究力」をつける—看護研究の実践が理解できる。	テキスト、配布資料	事前学習 教科書5章を 読む(30分) 事後学習 教科書5章を 読む(30分)	
	各コマに おける 授業予定	倫理的配慮、統計学の考え方について				
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	「研究力」をはぐくむ—看護研究の基礎について理解することができる。	テキスト、配布資料	事前学習 教科書4・6章 を読む(30分) 事後学習 教科書4・6章 を読む(30分)	
	各コマに おける 授業予定	文献レビューとその方法				
第4回	演習 形式	授業を 通じての 到達目標	「研究力」をはぐくむ—看護研究の基礎について理解することができる。 実習で得られた看護体験を、主体的にケースレポートにまとめることができる。	テキスト、配布資料	事前学習 文献レビュー を学内で進める。 事後学習 文献レビュー を学内で進める。	
	各コマに おける 授業予定	文献レビュー				
第5回	演習 形式	授業を 通じての 到達目標	「研究力」をはぐくむ—看護研究の基礎について理解することができる。 実習で得られた看護体験を、主体的にケースレポートにまとめることができる。	テキスト、配布資料	事前学習 文献レビュー を学内で進める。 事後学習 文献レビュー を学内で進める。	
	各コマに おける 授業予定	文献レビュー				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「研究力」をつける—看護研究の実践が理解できる。 研究過程をふまえ、研究計画書を立案することができる。	テキスト、配布資料	事前学習 わかりやすいケーススタディの進め方P59を読む。 事後学習 計画書の作成を学内で進める。
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成 ①		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	「研究力」をつける—看護研究の実践が理解できる。 研究過程をふまえ、研究計画書を立案することができる。	テキスト、配布資料	事前学習 わかりやすいケーススタディの進め方P59を読む。 事後学習 計画書の作成を学内で進める。
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成 ②		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「研究力」をいかに—問題解決のための研究的アプローチが理解できる。 実習で得られた看護体験を、主体的にケースレポートにまとめることができる。	テキスト、配布資料	事前学習 わかりやすいケーススタディの進め方V-①～④を読む 事後学習 わかりやすいケーススタディの進め方V-①～④を読む
		各コマにおける授業予定	論文の書き方、発表資料について		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習で得られた看護体験を、主体的にケースレポートにまとめることができる。	テキスト、配布資料	事前学習 レポート作成を学内で進める。 事後学習 レポート作成を学内で進める。
		各コマにおける授業予定	ケースレポート作成(抄録・スライド・発表原稿)①		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習で得られた看護体験を、主体的にケースレポートにまとめることができる。	テキスト、配布資料	事前学習 レポート作成を学内で進める。 事後学習 レポート作成を学内で進める。
		各コマにおける授業予定	ケースレポート作成(抄録・スライド・発表原稿)②		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習で得られた看護体験を、主体的にケースレポートにまとめることができる。	テキスト、配布資料	事前学習 レポート作成を学内で進める。 事後学習 レポート作成を学内で進める。
		各コマにおける授業予定	ケースレポート作成(抄録・スライド・発表原稿)③		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	実習で得られた看護体験を、主体的にケースレポートにまとめることができる。	テキスト、配布資料	事前学習 レポート作成を学内で進める。 事後学習 レポート作成を学内で進める。
		各コマにおける授業予定	ケースレポート作成(抄録・スライド・発表原稿)④		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ケースレポート内容をプレゼンテーションし、他者との意見交換をとおして探求することができる。	テキスト、配布資料	事前学習 わかりやすいケーススタディの進め方V-⑤を読む 事後学習 わかりやすいケーススタディの進め方V-⑤を読む
		各コマにおける授業予定	口頭発表準備(発表練習、質疑応答シミュレーション)		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	「研究力」をはぐむ—看護研究の基礎について理解することができる。 「研究力」をつける—看護研究の実践が理解できる。 「研究力」をいかに—問題解決のための研究的アプローチが理解できる。	テキスト、配布資料	事前学習 課題研究発表会プログラムを読む(30分) 事後学習 課題研究発表会プログラムを読む(30分)
		各コマにおける授業予定	課題研究発表会に参加		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	ケースレポート内容をプレゼンテーションし、他者との意見交換をとおして探求することができる。	テキスト、配布資料	事前学習 わかりやすいケーススタディの進め方V-⑤を読む 事後学習 わかりやすいケーススタディの進め方V-⑤を読む
		各コマにおける授業予定	ケースレポートの発表		